

上田仮説サークルニュース		2月例会	2016.02号
編集責任 遠藤 裕		発行2016.3.19	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サングァーデン中野 B-G		TEL 0269-23-2847	携帯 090-1406-9115
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp		勤務先 長野工業高校	TEL 026-227-8555

2月20日(土) 上田中央公民館 2F第1会議室
午後3:00～8:00



参加者数 8名 資料総ページ 53ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 坂口富雄さん, 大塚浩文さん,
渡辺規夫さん, 望月久和さん, 高見沢一男さん, 遠藤裕

はじめに 2月例会の参加者は8名。

発表は, 柳沢さんから2本, 増田さんから5本, 望月さんから1本, 渡辺さんから1本。合計9本の発表がありました。

柳沢さんは, 自民党の丸山和也参院議員の不適切発言に関する信毎・朝日新聞の記事と朝日新聞のデジタル版の記事を紹介してくれました。丸山氏の発言を読むと, 参院憲法審査会でどのような議論がされているのかが垣間見られる気がします。

増田さん<今月のお話3>のもくじと上田仮説出版・中野本社の広告。牧さんの<今月のお話>2本と<今月の書評(本の紹介)>の1本。

望月さんは, 小諸市民大学でおこなった特別企画の内容を12ページにわたって報告してくれました。望月さんはあとがきで「留学生が語るように未来志向には民間交流が大事>である」と書いています。

渡辺さんは, 「変圧器の実験」のプリントを紹介してくれました。変圧器は身近なところで使われており, 面白い実験ができそうです。今回は実験の準備をしていただいたのですが, コードが足りなくて実演を見ることができずに残念でした。前回柳沢さんから紹介があったエナジースティックでの実験も紹介してくれました。資料発表後, エナジースティックの間にいろいろなものを入れ, これはつかか, これはつかないかなどわいわいやりながら実験をしたのはとてもたのしかったです。参加者皆さん子どもに返って実験に熱中していました。渡辺さんは半導体かどうかを確かめるのに使えそうかどうかで, 授業書などに発展していきそうな気がしています。

終了後, 夢庵で夕食。



1. 発表資料

① サークルニュース 1月例会 遠藤 裕 (10ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 12月例会 遠藤 裕 (9ペ)
- ② 「^{そらふね}宙船」と原発の再稼働 柳沢克央さん (2ペ)
- ③ 2015-2016年末年始読書三昧 柳沢克央さん (16ペ)
- 「弁護士式読書法」をやってみた -
- ④ 書評 『「日本型学校主義」を超えて』 柳沢克央さん (3ペ)
- 教育改革を問い直す -
- ⑤ 瀬在徳雄さんのこと 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑥ <今月の書評5> 「宗教で世界がわかった！」と思える本 増田伸夫さん (8ペ)
『世界史で読み解く現代ニュース<宗教編>』の書評。
- ⑦ <今月の書評6> 「索引」つきで事典のように使える本 増田伸夫さん (4ペ)
『歴史図解 中東とイスラーム世界が一気にわかる本』の書評。
- ⑧ <今月の書評(本の紹介)7>世界史から「世界の今」を捉える 増田伸夫さん (12ペ)
『大世界史-現代を生きぬく最強の教科書-』の書評。
- ⑨ 研究の方法について 渡辺規夫さん (5ペ)
冬の大会(徳島大会)に参加して考えたこと
- ⑩ 紹介 物理学史の研究と物理教育の現代化の問題 渡辺規夫さん (4ペ)
国立研究所 板倉聖宣 (1963.7.28 車中にて)

2. ものづくり 講師:北村知子さん

<花づくり> <ドキドキハート> 『たの授』2000年2月号

② 丸山参院議員の「不適切発言」についての信毎・朝日報道 柳沢克央さん (2ペ)

丸山和也参院議員の不適切発言についての2紙(2/19)の報道の紹介。

このところ安倍内閣の閣僚や自民党議員の不祥事や失言が止まらない。丸山議員を含め信毎は7名、朝日は8名の閣僚や自民党議員の名前が挙がっています。柳沢さんは両紙の報道の大きな違いを鋭く指摘しています。信毎には「丸山氏の発言要旨」として<参院憲法審査会>と<記者会見>でのものが掲載されている。これに対して朝日の報道では、丸山氏の発言は「オバマ米大統領に対する不適切発言」として「アメリカは黒人が大統領になっている。これ、奴隷ですよ」と紹介しているだけで詳細はほとんどわからない。信毎の<参院憲法審査会>では要旨が次のように掲載されている。「…日本が米国の51番目の州になることに憲法上どのような問題があるのか。(米国の州になれば)

集団的自衛権，(日米)安全保障条約は全く問題ない。拉致問題すら起こっていないだろう。…米国の制度にあれば，人口で下院議員の数が決まる。おそらく『日本州』は最大の下院議員選出数を持つ。世界の中の日本と言うけど日本州出身が米大統領になる可能性が出てくる。ということは世界の中心で行動できる。…」，さらに「…今，米国は黒人が大統領になっている。黒人の血を引くね。これは奴隷ですよ。はっきり言って。まさか米国の建国当初には黒人，奴隷が大統領になるとは考えもしない。ダイナミックな変革をしていく国だ。」と発言。米大統領への不適切発言は大いに問題だが，その前段の「日本州」発言はもっと直接的に日本の政治に関する事で，「参院憲法審査会」でこのような発言がされたということをもっと大きく取り上げるべきではないか。

(この記事は「参院憲法審査会」での話ですが，どんなことを議論しているのかを垣間見ることができ記事でした。国会議員にはもっと節度ある慎重な議論を望みたいものです。 エト`ウ)

③ 朝日新聞デジタル版の記事の紹介 柳沢克央さん (2 ペ)

「自民・丸山和也参院議員の参院憲法審査会での発言詳細」の記事(2/18)の紹介。

丸山氏の「参院憲法審査会」での発言が掲載されています。要旨が②での信毎の記事になっています。柳沢さんはこの記事を読んで次のようなメモを書いています。

「法律の専門家」が名実共に独立国であることを放棄する「思考実験」をしていることが明白となったことの衝撃。

(朝日新聞のデジタル版の記事は真相をよく知ることができましたが，一般の人が日々目にする新聞の記事ももう少し真相がわかるような記事にしてもらいたいですね。しかし，憲法改正論議，これからどのように推移していくのか注視していきたいです。 エト`ウ)

④ <今月のお話3>もくじ 増田伸夫さん (1 ペ)

<まえがき>

I 牧衷 10 篇

II 板倉聖宣 6 篇

III 渡辺規夫 4 篇

(上田仮説出版の広告)

(上田仮説出版・中野本社の広告)

<あとがき>

(これから出版される<今月のお話3>のもくじです。サークルでもその都度増田さんが発表してくれています。製本された本で一氣に読んでみたいですね。 エト`ウ)

⑤ 上田仮説出版・中野本社の本（広告） 増田伸夫さん（3ぺ）

＜上田仮説出版・中野本社の本（広告）＞
上田仮説出版中野本社（信州ニコニコ出版・東山書房）の本の
注文・問い合わせ先：増田伸夫
〒383－0015 長野県中野市吉田1133－2
電話・FAX 0269－26－3924
郵便振替 00530－1－51295 加入者名「増田 伸夫」
（中野本社の本の注文は、必ずハガキまたは FAX で増田伸夫までお願いします
上田仮説出版とは異なりますのでご注意ください）

『牧衷 今月のお話』（上田仮説出版中野本社） ￥1000－

牧衷さんの講演記録をB5版4ぺに再編集したものを30話収録

- I 仮説実験授業を語る（1～7）
- II 若い人（高校生・中学生）へ伝えたいこと（8～14）
- III 社会・哲学・現代を語る（15～30）

『今月のお話2』（上田仮説出版中野本社） ￥1000－

板倉聖宣さん、牧衷さん、渡辺規夫さんの講演記録をB5版4ぺに再編集したものを計30話収録

- I 板倉聖宣13篇（1～13）
- II 牧衷12篇（14～25）
- III 中原しげる2篇・渡辺規夫3篇

<予告> 『今月のお話4（索引付）』（中野本社）を構想中です！

さらに続刊『今月のお話4（索引付）』を構想中です！

今回と同様に、牧衷さんほかの講演記録をA5版8ぺに再編集したお話を収録予定。さらに、『今月のお話1～4』の索引もつける方向で検討中です（索引があると、これらの本が断然使いやすくなるだろうと予想しています）。（とりあえず）『今月のお話』の完結版となる予定です。

（『今月のお話4（索引付）』の出版も構想中とのこと。<予告>で増田さんも書いていますが索引があることで今まで以上に有効活用ができますね。あの話題について牧さんや板倉さんはどんなことを言っていたか調べるのに便利そうです。 エンドリ）

⑥ <牧：今月のお話8> 「国益」ではなく「公益」のために 増田伸夫さん（8ぺ）

－ common の立場から教育を考える－

（上田仮説出版『牧衷連続講座記録集VII 学生運動と仮説実験授業の源流』「公」という概念について－ common か public か－」より 2003/6/22 軽井沢高原ホテルにて テープ起こし・編集：渡辺規夫氏 再編集・文責：増田）

◇「国益」ではなく「公益」のために教育する

◇ public（国益），common（公益），private（私権）

◇ common 概念をもとにした教育は，現在の教育にどのような変革を迫るか（音楽・美術教育を考える）

◇音楽教育の現状

◇鑑賞教育だけで行く（第一級の作品を聞かせまくる）

◇学校で教えない音楽は喜んでやる

増田さんの<あとがき>より

<教育も common の立場から考えることが重要だ。教育を common の立場から考えてみると，今の教育内容（音楽教育，美術教育など）も根本から考え直さなければならなくなる>というお話です。「第1級の作品だけを聞いて，聞いて，聞かせまくる」という鑑賞教育，いいですね。

それにしても，日本の政治家たちの話に「国益」という言葉はいくらでも出てくるのに，「公益」という言葉がまったく出てこないのは，あまりにさびしい気がする。

なお，<「まやかしの公（public）」の押しつけには，「私（private）」ではなく，「まっとうな公（common）」を持って対抗しなければ勝てない>ということについては，『牧 今月のお話』の「お話4：コモンとしての「公」の形成－<お上の公>対<コモンの公>－」も併せてお読み下さるといいと思います。（増田）
<教育を common の立場から考える。>学校現場にいるとついつい忘れてしまいがちですが，その点仮説実験授業はそのことを第一にした授業ですね。 エドワ

⑦ <牧：今月のお話9> 意識は不均等に発展する 増田伸夫さん（8ぺ）

－何党がやっても，いい政策なら世の中よくなる－

（上田仮説出版『牧衷連続講座記録集VII 学生運動と仮説実験授業の源流』「戦後日本学生運動と仮説実験授業こぼれ話」より 2003/6/22 軽井沢高原ホテルにて テープ起こし・編集：渡辺規夫氏 再編集・文責：増田）

◇自発的にやることはたのしい

◇意識は不均等に発展する（いい政策が世の中をよくする）

- ◇仮説実験授業をやれば、みんながみんな賢くなるか
- ◇乗数効果の高い経済政策
- ◇「エコロジカル・ニューディール」

増田さんの〈あとがき〉より

「意識は不均等に発展する」ので、みんな得手不得手がある。だから、〈誰それさんの言うことはみんな正しい〉ということはありませんし、〈何党の言うことが全部正しい〉ということもありません。つまり〈世の中がよくなるかどうか〉は、「誰が権力を握るか」ではなくて、〈いい政策かどうか〉で決まる。経済学でいっても、乗数効果が一番高いのは、ホームレスのような人たちにお金を流すこと。金持ちにお金を流してもダメだと、牧さん。

昨日、日銀がマイナス金利政策を発表。政府・日銀がグルになってすすめているアベノミクスも「円安・株高」を誘導しようとしているだけで、結局は大企業（輸出産業）や金持ちにお金が流れているだけなんだなあ。（増田）

（政治などを考えるとき、どうしても何々党はよくないと判断してしまいがちです。〈いい政策かどうか〉で判断できるような基礎知識を身につけなければいけないと思います。 エドワリ）

⑧ <今月の書評(本の紹介) 7その2>

世界史から「中国の今」を捉える 増田伸夫さん（4ペ）

『大世界史—現代を生きぬく最強の教科書—』の書評。

池上彰・佐藤優著『大世界史—現代を生きぬく最強の教科書—』（文春新書）

（2015年10月20日第一刷 2015年10月25日第二刷発行）（定価：本体830円（税別））

増田さんは、「まえがき」で次のように書いています。

〈今月の書評7：『大世界史』〉の続編。今回は、（紙面の関係で）前回の書評ではあまり触れることができなかった中国に関する部分を取り上げます。

今回もいくつか問題を用意しました。〈それらの問題を考えてもらうことで、この本の紹介を試みてみよう〉という趣向です。しばらくおつきあいください。

- ◇南シナ海と中国
- ◇南シナ海と鄭和
- ◇宦官とされた鄭和
- ◇中国王朝の民族
- ◇モンゴルの宗教

（高校の世界史で中国史を少し勉強しました。しかし、問題にはほとんど答えられませんでした。目的意識のない勉強は全く役に立たないものだなあと痛感しています。 エドワリ）

⑨ 「アジアと日本のこれからを考える」 望月久和さん（12ページ）

小諸市民大学でおこなった特別企画(11/8)の報告。

小諸市民大学では2015年に設立35周年を迎えるにあたり、さる11月8日に特別企画を開催しました。そのテーマは「アジアと日本のこれからを考える」。この企画が実現した理由は「最近、日本の周辺では領土を巡って不穏な動きが目立ってきている。お互いがアジアの一員として平和的・友好的に物事が解決できないものか、そしてそのために我が国はどのような役割を果たすべきか」という問題意識が運営委員や市民の間で出されていたためです。この企画では第一部として将来を担う県内で学び働く留学生の話をお聴きすること。第二部は小諸出身のジャーナリストの青木理氏を招き「未来志向とは何か」と題して講演してもらうこととしました。当日は250名の市民が来場してなかなかの盛況でした。以下はその概要と講演内容を紹介するものです。これからのアジア外交を考える上で参考になれば幸いです。

第一部 「アジア出身者による日本語による意見発表」

アジアの一員として、我が国はどのような役割を果たすべきかについて考えてみようという視点から、日本で学び、仕事をしているアジアの若者に、下記のようなテーマについて、日本語で意見発表をお願いすることにしました。この企画を実施するにあたって、県内の全大学および小諸市内の事業所に直接又は間接に出向きこの趣旨を伝え発表者を募ったところ、長野県全体から14名の応募がありました。運営委員会で提出された発言要旨を検討した結果、今回は時間の関係で6名の方々にお願いし、紹介を含めて10分の持ち時間で発表して頂きました。以下に発表要旨を紹介します。

☆発表のサブテーマ

- A 日本で学んだこと、働いて感じたこと
- B 私の国 — 日本人に知ってほしいこと
- C 日本人へのメッセージ — 日本や日本人に求めたいこと
- D アジアの相互理解 — 大切なことは何か
- E アジアの平和のためにできること

- (1) 王 秋実 中国四川省成都市出身、佐久大学看護学部で看護を勉強中。
- (2) ハリマトサディア・ビンディ・サダン マレーシア出身、長野高専環境都市工学科で勉強中
- (3) パク ソンヨン 韓国水原出身、ワーキングホリデーで来日、軽井沢の洋服店勤務。
- (4) グエン クオック フィ ベトナム出身、日・越政府募集の「技能実習制度」に応募し来日、小諸市の(株)ユウワで超精密プラスチック製品の射出成形技能を学んでいる。
- (5) 丁 怡珊 テイ イサン 中国出身、信州大学繊維学部で感性工学を勉強中。
- (6) 黄 止順 ファン・ジスン 韓国出身、清泉女学院大学現代コミュニケーションコースで勉強中。

第二部 「未来志向とは何か」 — 韓国との関係を例に考える—

ジャーナリスト・ノンフィクション作家 青木 理

講師プロフィール

小諸市出身。野沢北高校・慶応義塾大学卒業後、共同通信社に入社。大阪社会部、成田支局などを経て東京社会部で警視庁公安担当などを務める。この間、オウム真理教事件や数々の経済事件などの取材に携わり、1997年から1998年まで韓国・延世大学校韓国語学堂に留学。2002年から2006年までソウル特派員。その後、独立。週刊誌や月刊誌などを中心に長編のノンフィクション作品を発表する一方、テレビコメンテーターやラジオパーソナリティとしても活動している。

主な著書

- 『日本の公安警察』（講談社現代新書）
- 『北朝鮮に潜入せよ』（講談社現代新書）
- 『ルポ 拉致と人々～救う会・公安警察・朝鮮総聯』（岩波書店）
- 『抵抗の拠点から～朝日新聞「慰安婦報道」の核心』（講談社）など

1. はじめに
2. 国と国との交渉をする際には二つの方法しかない
3. 韓国の民主化運動が交渉を加速した
4. 日韓関係が悪化していった理由
5. 北朝鮮で体験したこと
6. 質問に答えて
7. おわりに

今日は出身地小諸で貴重な講演をさせてもらった。テーマを考える上で我々はもっと知ることが大事である。韓国・中国・北朝鮮のことを知らないと相手の立場にも立つこともできない。今日は中国・韓国・マレーシア・ベトナムの留学生の方々から貴重なお話を伺った。私も情報を発信する立場から皆さんの判断に資する情報をささやかながら出し続けていきたいと考えている。力不足だが今後ともよろしくお願ひしたい。

望月さんの〈あとがき〉より

この企画が終わった後、昨年暮れに日本と韓国の政府間で慰安婦問題の解決がはかられました。その内容について日韓のそれぞれの団体から賛否両論が起きましたがいまだにその決着ができていません。しかし牧さん流の予測に立てばこの決着は日韓政府のぎりぎりの妥結であったのではないかと思います。〈国と国との交渉をする際には2つの方法しかない。ひとつは外交交渉によるもの。もう一つは戦争によるものである〉。だから問題は外交交渉で解決するしかない。そのため〈双方に得があるときのみ妥結がある。交渉するときには相手の立場を思いやることが大事〉ということです。そして留学生が語るように未来志向には

<民間交流が大事>であることもとても大事な事だと思いますがどうでしょうか。
(望月久和記)

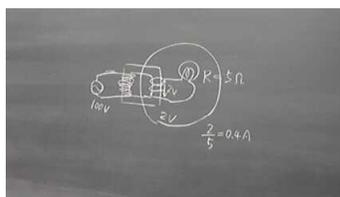
(日本で学び、仕事をしているアジアの若者の意見を聞く機会って本当に大切だなと思いました。最近外国人が多くなったという話をよく耳にしますが、彼らとはほとんど触れ合う機会がありません。このような企画をした小諸市民大学もすごいです。アジア出身者の意見発表は、日本にはおおむね好意的で、前向きの意欲が感じられます。このようなところから<民間交流>が発展していくといいですね。国家間の問題を解決していくためにも。 エドワ)

⑩ 変圧器の実験プリント 渡辺規夫さん (3ペ)

変圧器を用いた実験プリントの紹介。

問題が4題。渡辺さんは実験道具を持ってきてくれましたが、コードが不足していて実験をすることができませんでした。是非見てみたい実験です。エジソンとテスラの論争やペランの実験などの話題が出ました。

(物理基礎の教科書では電気分野で変圧器の話が出てきます。計算問題を解くことで終わってしまい、なかなか実験をやるところまでいきません。私(エドワ)を含め多くの先生方は変圧器の実験はほとんどやったことがないのでは。プリントの内容は面白そうです。このプリントの内容も是非授業書に発展していくといいなと思っています。 エドワ)



あとがき このところ4月ころの陽気が続いていて、春になたという実感を肌で感じています。



年度末になり、来年度の準備に向けてあわただしい日が続いています。私(エドワ)は、来年度も長野工業にお世話になります。長工も7年目となり、前回も書きましたが、余裕を持って仕事に取り組みたいと思っています。

★ 今後の予定 ★

4月23日(土)

5月28日(土)

6月25日(土)